

テーマ：“躯体と設備をセット”で考えた、トータルでスマート(省エネルギー)な住宅

◆「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エレクトリック2008」とは

オール電化住宅を対象に、外皮性能と主要設備機器を一体として評価した定量的省エネルギー性能に加えて、独自の工夫・先進性、快適性・安全性などと省エネルギー性との融合、省エネルギー住宅の普及貢献など次の4つの視点からトータルでスマート(省エネルギー)な住宅を審査委員会で選定し、「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エレクトリック2008」として表彰します。

* オール電化住宅の普及の現状を踏まえ、I、II、VI地域も含め全国全ての地域を応募対象といたします。

視点1：外皮・設備の省エネルギー性能値

・定められた条件の下で、暖冷房、給湯・換気用エネルギー消費量を算定し、省エネルギー性能値を評価

* 視点1は評価に際し、基本・重点事項となります。

視点2：トータル性能向上に向けての独自の工夫、先進性(数値で表現できない取組等)

・設備・躯体設計等への工夫

・空間設計の工夫

・住まい方への提案(販売時、居住時)等

視点3：他の性能と省エネルギー性とのバランス・連携 等

・快適性、安全性、耐久性、利便性、品質保証等とのバランス・連携 等

視点4：応募した省エネ住宅の普及に関わる取り組み

・コストパフォーマンス

・供給量実績(供給数、シェア等)

・その他普及努力 等

◆審査体制：ハウス・オブ・ザ・イヤー審査委員会

委員長：伊藤 滋 早稲田大学特命教授(財団法人日本地域開発センター会長)

副委員長：坂本 雄三 東京大学大学院工学系研究科教授

委員：松村 秀一 東京大学大学院工学系研究科教授

阿曾 香 リクルート 住宅総研主任研究員

田原 祐子 ベーシック 取締役社長

◆応募資格

2008年1月1日～2008年12月31日に竣工実績(及びその予定)を持つ住宅シリーズ等

◆応募期間(予定)

2008年10月1日～11月17日

◆応募先及びお問い合わせ先

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エレクトリック審査委員会事務局

財団法人日本地域開発センター 東京都港区虎ノ門1-11-7 第二文成ビル

TEL 03-3501-6856 FAX 03-3501-6855 http://www.jcadr.or.jp/house_of_the_year

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エレクトリック2007受賞者一覧

受賞者	商品名	申請地域	本社所在地
○大賞 2件			
株式会社一条工務店	夢の家	Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ	東京都江東区
スウェーデンハウス株式会社	ヒュースエコ エネセーブパッケージ	Ⅲ・Ⅳ	東京都世田谷区
○特別賞 4件			
株式会社サンワホーム	無暖房住宅ハイパーエコシリーズ 0.7	Ⅲ	山梨県中巨摩郡昭和町
	無暖房住宅ハイパーエコシリーズ 0.9	Ⅳ	
積水化学工業株式会社	セキスイハイム「グランツーユー」	Ⅲ・Ⅳ	大阪府大阪市
ツーベアホーム株式会社	ツーベアホーム スタンダード	Ⅲ	宮城県仙台市
パナホーム株式会社	生活快適エコライフ住宅 ソラーナシリーズ	Ⅳ	大阪府豊中市
○優秀賞 8件			
積水化学工業株式会社	セキスイハイム「ハイム」	Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ	大阪府大阪市
大和ハウス工業株式会社	xevoシリーズ	Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ	大阪府大阪市
東急ホーム株式会社	ミルクリーク	Ⅳ	東京都渋谷区
株式会社 21 世紀住宅研究所	“自由設計の家” SW	Ⅲ・Ⅳ	東京都江東区
	“自由設計の家” SW2×4	Ⅲ・Ⅳ	
株式会社松島組	北の大地シリーズ	Ⅳ	徳島県吉野川市
ミサワホーム株式会社	SMART STYLE 「O40」	Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ	東京都新宿区
三井ホーム株式会社	オークリー	Ⅳ	東京都新宿区
三菱地所ホーム株式会社	エアロテック	Ⅳ	東京都港区
	エアロテックCB	Ⅳ	
○地域賞 2件			
株式会社サンクスホーム	そらら	Ⅲ	福島県郡山市
有限会社藤川建設	家族と地球環境にやさしいFPの家	Ⅳ	神奈川県大和市